

輸出事業計画

申請者名：株式会社フルプロ、品目：りんご

1. 輸出における現状と課題

(1) 現状

近年、生産者の高齢化、もしくは継承者がいない等の諸問題により、耕作放棄地が増加傾向にあり、産地の維持、発展のためには担い手の確保及び農地の集積が急務となっている。

また、国内におけるりんごの消費の現状は、マーケットが縮小傾向にある中で、海外を含めた新たな販路の開拓が必要である。

(2) 課題

- ・ 海外需要に対応可能な生産工程管理の導入が必要
- ・ 輸出先国実需者及び輸出事業者の需要（量、品質）に対応できる生産体制及び集荷体制の整備が必要
- ・ 植物検疫、輸入規制への対応
- ・ 輸出実績がないため、ターゲット国実需者までの商流の構築が必要
- ・ 港までの距離が遠いことから流通コストの低減が必要
- ・ 国内他産地及び諸外国から商品との差別化独自ブランドでの販売

2. 輸出事業計画の取組内容

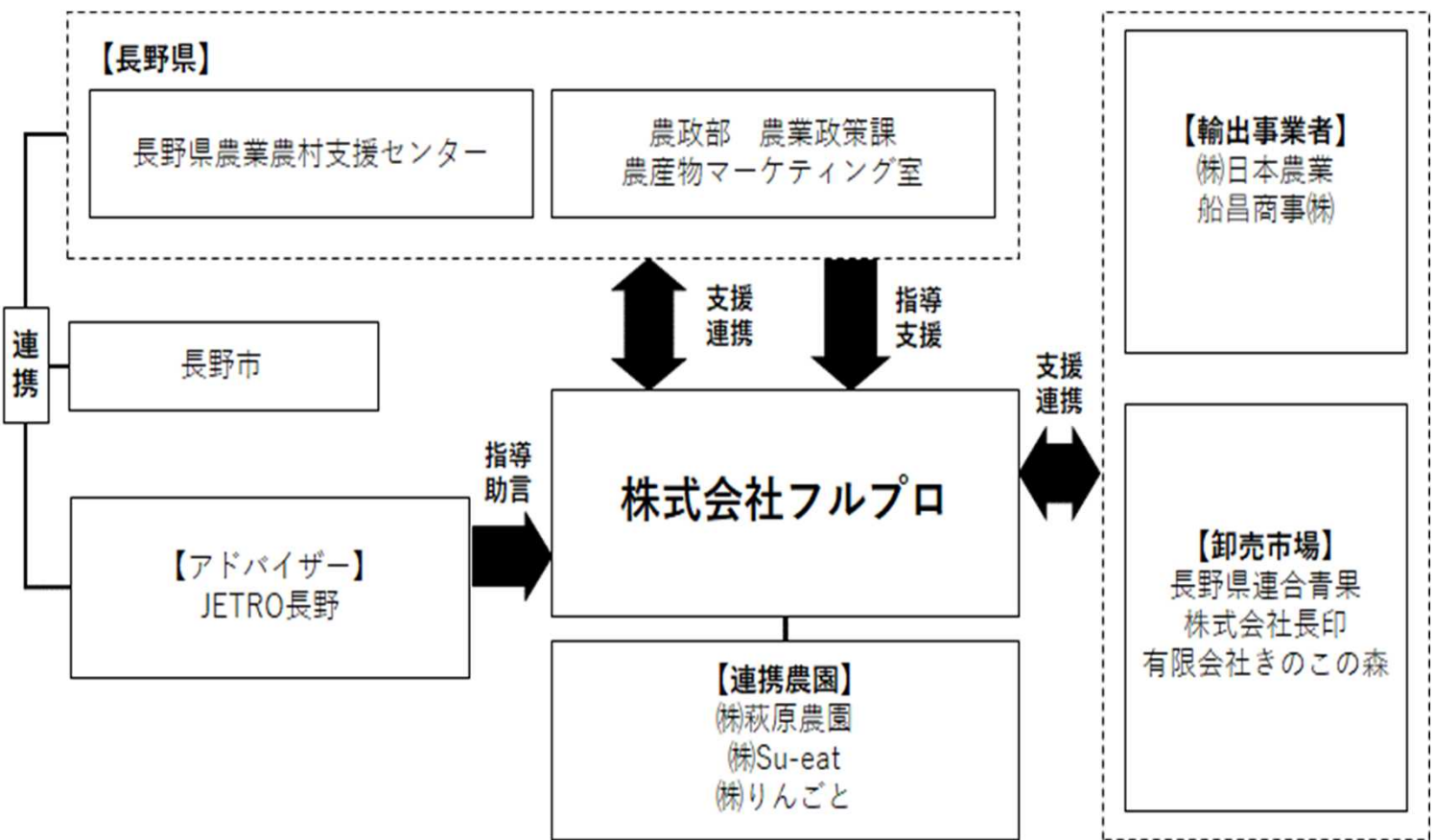
(1) 生産

- ・ 国際基準の農業生産工程管理であるグローバルGAP認証等の取得
- ・ 行政と連携し、遊休農地における高密植栽培（新わい化）により改植事業を進め、並びにその生産物であるりんごを輸出する算段をすすめるとともに、低コスト省力化と単収の確保、品質の均一化を図るため、「高密植栽培（新わい化）」技術の導入推進
- ・ りんご生産者との輸出に係る連携関係を構築し、需要量の確保できる生産体制を整備
- ・ 国内外のりんごの輸出の収穫、選果こん包、出荷等一連の体制等調査を実施
連携関係にある生産者の出荷物を集約し、選果こん包、出荷する体制を構築するため、卸売業者と連携し、光センサー選果による商品の均質化（大きさ、糖度など）の実施
- ・ 二国間の合意に基づく検疫実施要領に沿った園地及び選果こん包施設の登録や検疫対象病虫害の除去などを適切に実施（タイ、ベトナム）
- ・ 衛生管理認証を取得するため、卸売業者と連携し、タイ向け青果物の選果及び梱包に関するJFS規格などの認証を取得

(2) 流通、販売

- ・ 将来にわたり継続的に取引が可能な有望な輸出事業者を含めた商流を構築
- ・ 流通コスト低減に向けた対策について輸送事業者を含め検討を実施
- ・ 長野りんご三兄弟（秋映・シナゴールド・シナスイート）を中心とした輸出用栽培で差別化を実施
また、独自ブランドによる販売事例の調査とブランドづくりによる有利販売対策の検討

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 (令和3年度)	目標年 (令和6年度)	備考
北信地区 (長野市北部)	輸出額(千円)	0	20,000	-
	輸出量 (t)	0	110	-
	輸出先国	-	タイ・ベトナム・香港	-
	生産量 (t)	230	1,200	-